

# 「2017年の回顧と2018年の展望」

～いま求められる新たな視点は？～

2018年3月1日  
**機械金属部会**  
池辺

1. マクロ指標関連

2. セグメント別状況

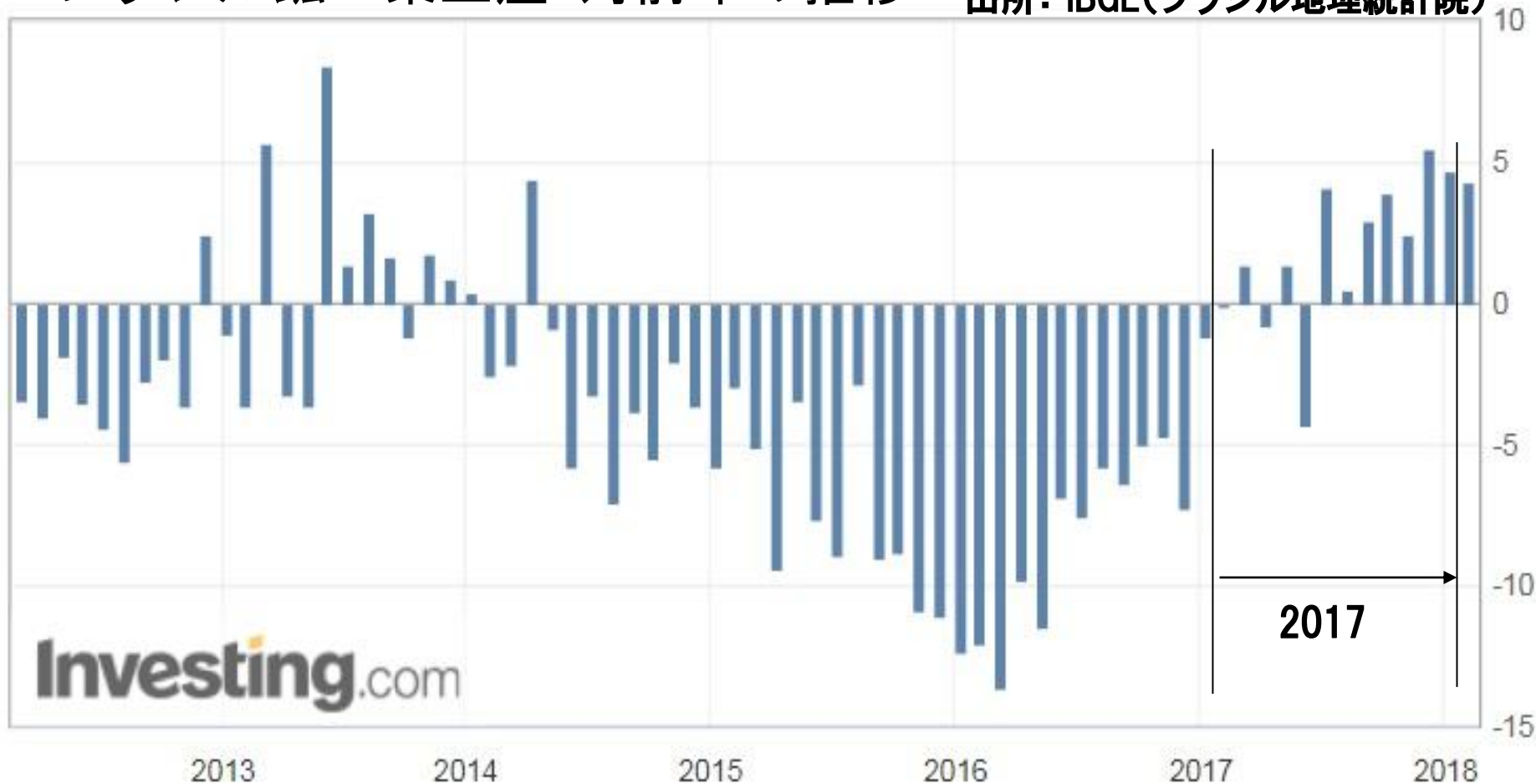
業種・分野別分類

- (1) 鉄鋼
- (2) 電力
- (3) 建設機械・業務用空調
- (4) 切削工具・ベアリング・ドライブシャフト
- (5) トラクター・非汎用圧縮機

3. 副題-いま求められる新たな視点は?-

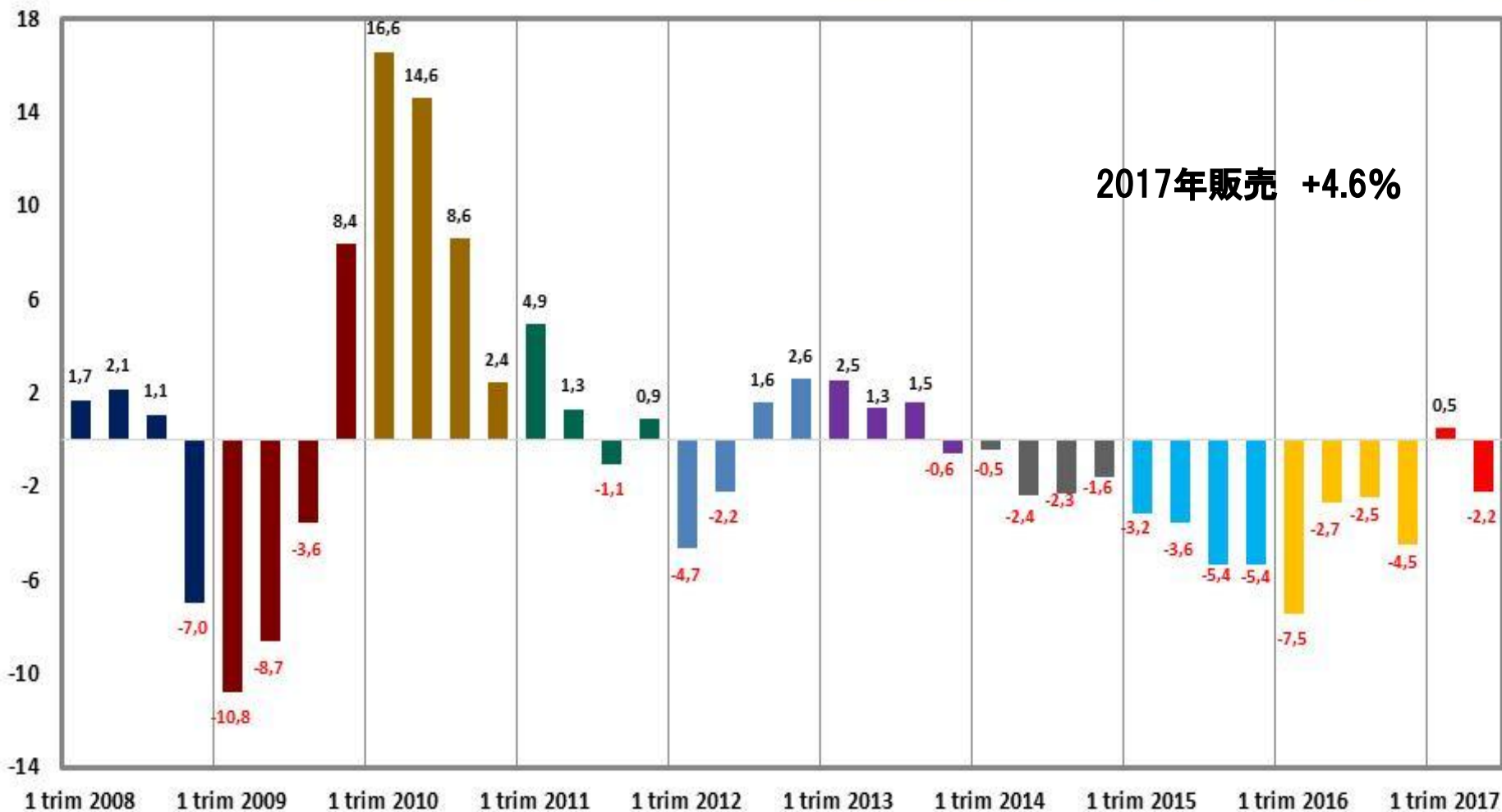
# ブラジル鉱工業生産 対前年の推移

出所: IBGE(ブラジル地理統計院)



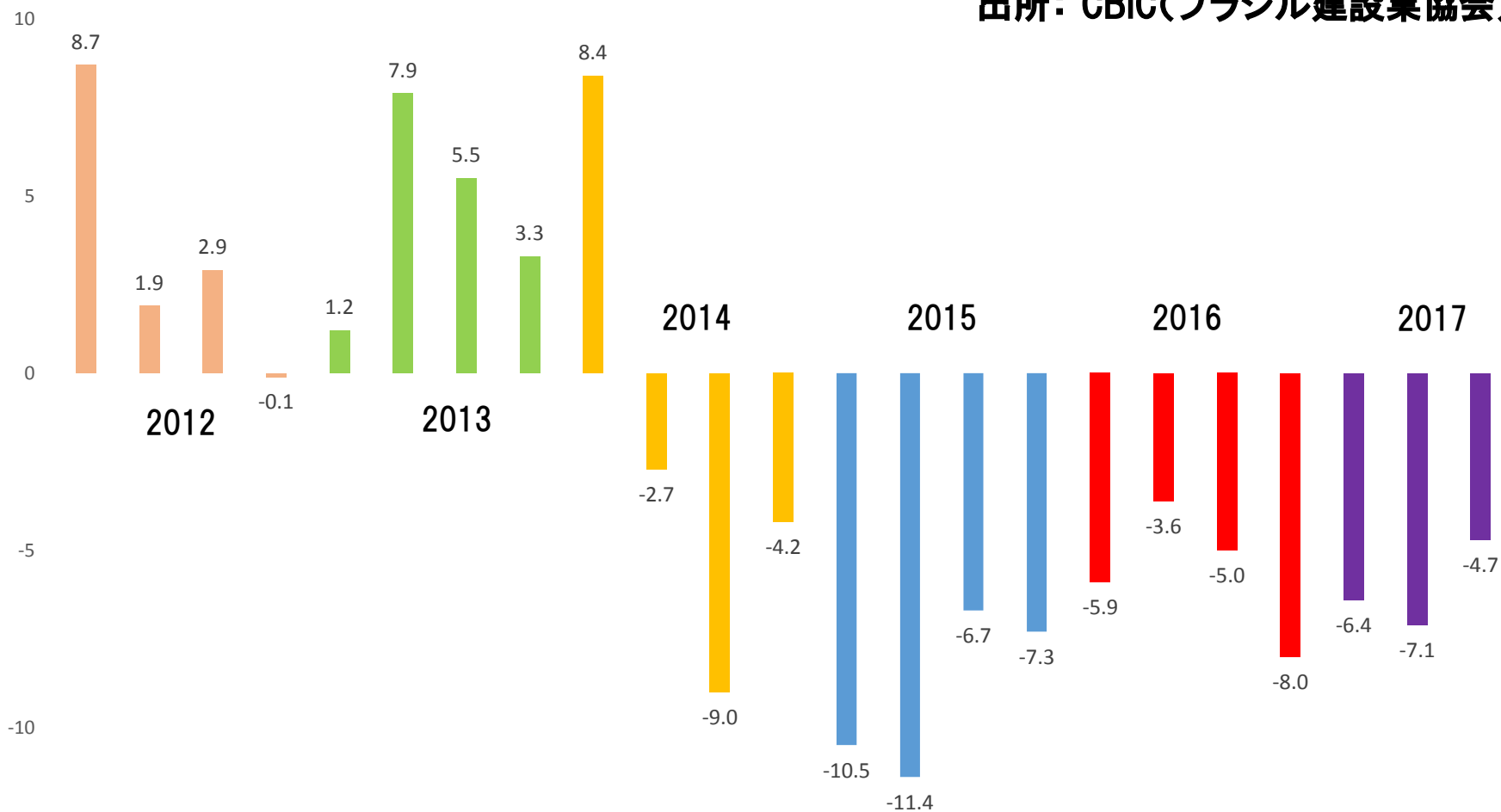
## ダンボール生産 対前年同期比の推移

出所: IBGE(ブラジル地理統計院)



## 建設実績 対前年同期比推移

出所: CBIC(ブラジル建設業協会)



1. マクロ指標関連

2. セグメント別状況

業種・分野別分類

- (1) 鉄鋼
- (2) 電力
- (3) 建設機械・業務用空調
- (4) 切削工具・ベアリング・ドライブシャフト
- (5) トラクター・非汎用圧縮機

3. 副題-いま求められる新たな視点は？-

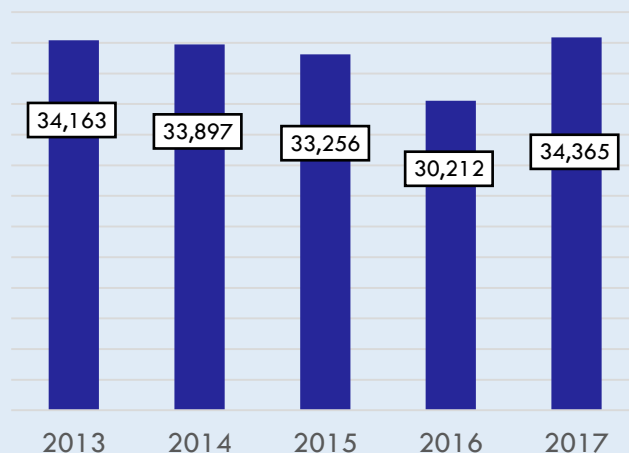
## 伯鉄鋼生産関連情報（伯鉄鋼協会）

2017年実績

数量: 千トン、前年同期比

	生産		国内販売		輸出	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
粗鋼	34,365	10%	16,902	2%	15,352	14%
圧延鋼板	13,687	12%	9,942	6%	3,405	10%
形鋼	8,730	1%	6,635	▲3%	1,863	9%
スラブ	8,624	9%	140	▲22%	10,084	17%
他	1,218	▲13%	185	40%		
			輸入		2,329	24%

## 粗鋼生産量推移（Kトン）



- ・生産：6年振りに前年比増加 ← 新会社CSP分(2016/6月稼動)増と国内需要の回復
- ・国内販売：自動車・家電生産の回復で鋼板類は6%増も、建設・機械等の需要回復遅く、条鋼類は依然3%減で、全体では2%の増
- ・輸出：CSP、生産のほぼ全量を輸出(半製品17%増)で、全体14%増
- ・輸入：自動車生産の回復(鋼板類輸入72%増)、全体で24%増

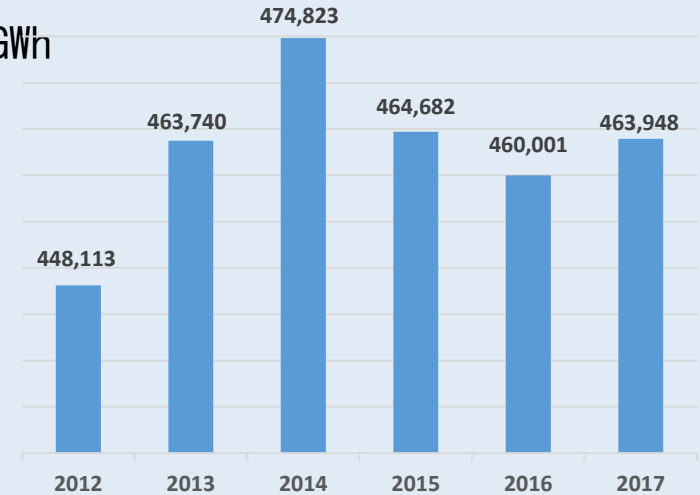
### 〈2018年展望〉

- ・鉄鋼協会の国内販売見通し約4%増、生産量も増えるも2013年のピークへの回復は2028年
- ・国内販売は自動車生産の回復に、機械・建設需要が穏やかな伸びを予想
- ・輸出は米国・EUでのAD訴訟対象となっており、鋼板類は伸び悩む可能性大
- ・Usiminas Ipiranga製鉄所第1高炉4月再稼動、製鉄会社の設備、保守への投資回復期待

## 電力

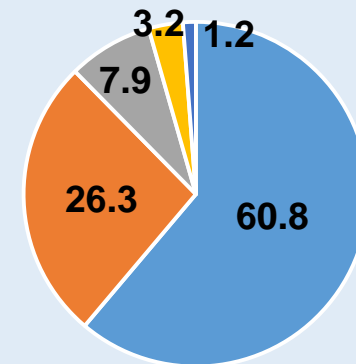
- ・ 経済活動の回復に伴い、2017年の電力消費は463,948GWhと3年振りに前年比0.8%増大。  
特に工業部門は1.3%の増で、一般家庭0.8%、商業部門0.3%等全部門で増大
- ・ 2017年12月に2つのエネルギーオークション(A-4/A-6)が実施され、89件、3,160MW分が落札された(2016年は29件、158MW)  
ガス、風力、太陽光が前回比較で大きく増加
- ・ EPEでは、今後年間500MW規模のバイオマス発電を予想  
2018年以降大型発電案件は期待薄で、分散型発電所の建設が見込まれる  
→ これら向け機材・設備需要に期待と備え

### ブラジル電力消費量(GWh)



出所: EPE(エネルギー研究公社)

### ブラジル電力発電構成(%、2017年)



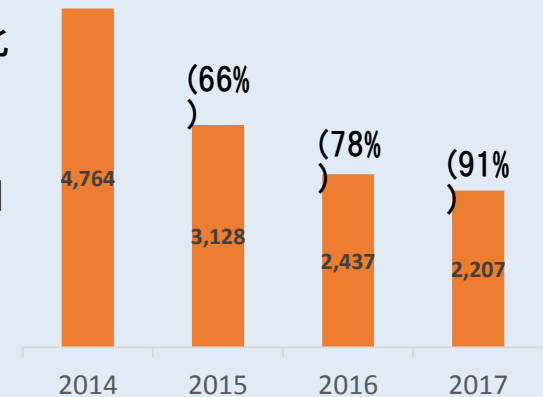
■ 大型水力 ■ 火力 ■ 風力 ■ 小型水力 ■ 原子力



## 建機

- ・ 2017年も建設需要の低迷を受け、油圧ショベル販売は前年比91%と3年連続の需要減
- ・ 道路・土木工事用機械(ブルドーザ・バックホー等)全般、2017年第3四半期に底を打った感あり、対前年比2%減、過剰在庫も一掃輸出が前年比54%と2016年に続き、50%以上の伸びとなっており、生産は前年比36%増

### 油圧ショベル販売台数推移



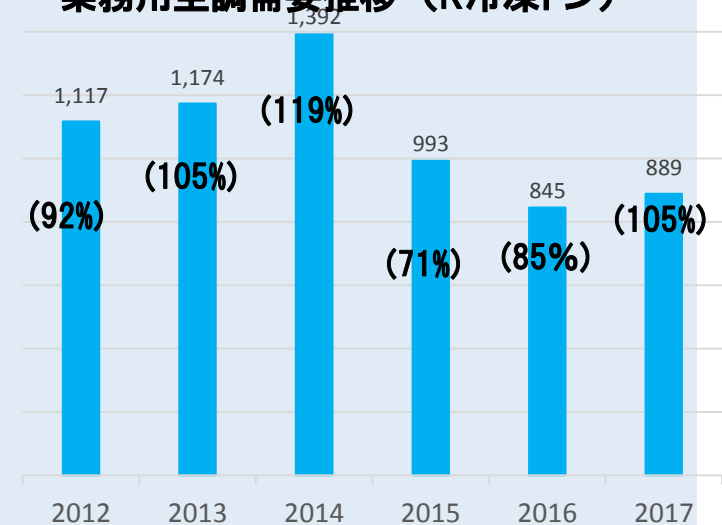
## 業務用空調

- ・ 工業・商業の回復と空調の需要期も重なるり、2017年7~12月は対前年比112%、年間でも105%となって3年ぶり前年比増

### 〈2018年展望〉

- ・ 建設業界の回復は2019年以降と予測も2018年、油圧ショベルは前年割れを逃れ横ばい、道路・土木工事機械全般では、8%程の増加を予想
- ・ 業務用空調の2018年は、商工業の回復を受けて、5~10%の伸びを予想

### 業務用空調需要推移 (K冷凍トン)



## 主要顧客先は自動車業界

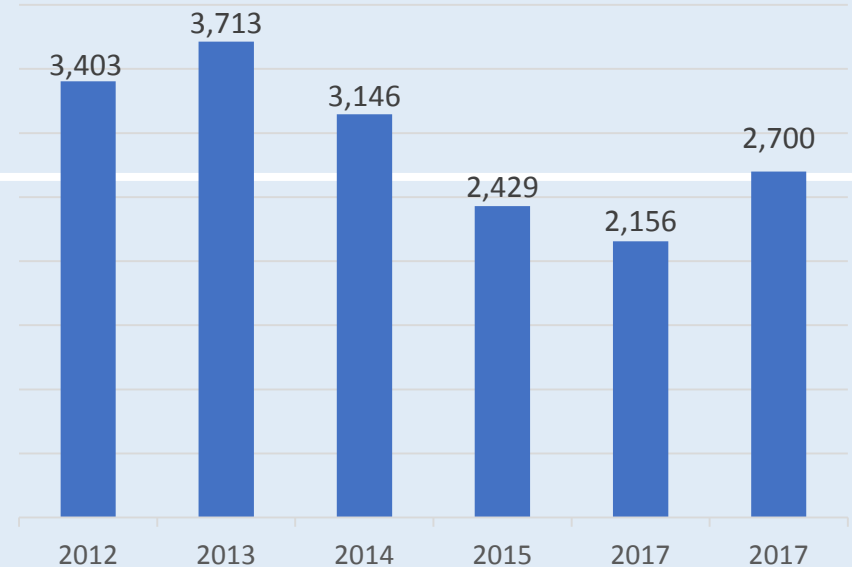
- 自動車生産回復基調（輸出47%増）  
2017年対前年比 25%増(270万台)  
2018年予測 生産13%増、販売12%増

## 切削工具/金属加工油剤

- 自動車生産の回復を受け、会員各社の実績前年比二桁の伸び
- 農業機械、金型分野等比較的堅調に推移
- 2018年も自動車生産の回復に伴い、更に二桁の増加を予想

## 自動車生産台数推移 (K台)

出所: Anfavea(自動車生産者協会)



## ベアリング/ドライブシャフト

- 自動車生産の回復に加え、遅れていた二輪の生産も下期より増加に転じた
- 一般産業機械向けでは、農業機械の販売は増加したものの在庫調整で生産は前年比減  
→ 前年比微増
- 2018年、自動車生産は回復、二輪の生産も7-9%増を見込む
- 一般産業機械も景気の回復と共に需要増を期待
- 自動車補修市場の消費者向けアフターマーケットも堅調持続を予想

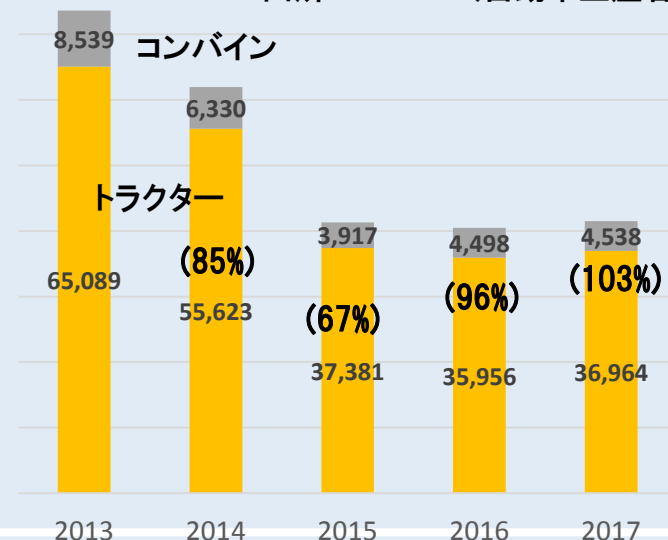
## トラクター

- ・ 2017年需要は前年比103%と4年振りに前年比増を回復  
農作物の収穫が良好で、政府の農業向け低利融資の  
17/18年収穫期プログラムも実行され、回復基調

### 〈2018年展望〉

- ・ 農作物の収穫も概ね良好が続き、全体的に回復傾向  
継続を予想

農機販売状況（台） 出所：Anfavea(自動車生産者協会)



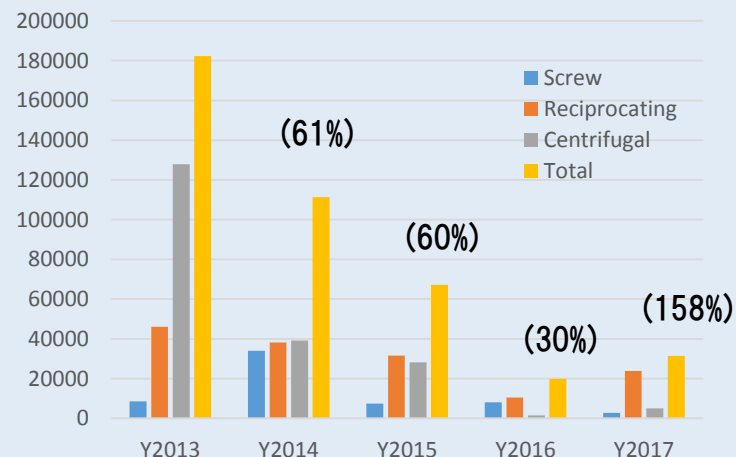
## 非汎用圧縮機

- ・ 主要用途：資源開発、石油精製、石油化学  
全体輸入額は4年振りに前年比増となるも、メンテ  
ナンス費用の増加 Screwは依然大幅ダウン

### 〈2018年展望〉

- ・ 原油価格の上昇により上流(石油生産)は活発化し、  
引合いが実案件かしていくこと期待  
下流(石油化学)は当面投資縮小傾向であり、回復は  
4-5年先となると想定

コンプレッサー輸入額（KUSD） 出所：Integrated Foreign Trade System(SISCOMEX)



## 1. マクロ指標関連

## 2. セグメント別状況

### 業種・分野別分類

- (1) 鉄鋼
- (2) 電力
- (3) 建設機械・業務用空調
- (4) 切削工具・ベアリング・ドライブシャフト
- (5) トラクター・非汎用圧縮機

## 3. 副題-いま求められる新たな視点は？-

#### -いま求められる新たな視点は？-

- 特別な新たな視点はなく、従来通りの地道な活動
- 新規需要・顧客の創出
  - 土木建築における鋼構造の利点(短工期、良施工性、人件費圧縮等)をPR → 鋼材需要の創出
  - 製造業への設備の自動化・統合設備の利点啓蒙  
→ ブラジル製造業の競争力向上に貢献
- 量の拡大から質の拡大
- 変化に柔軟に対応出来る組織作り
- 将来の成長に向けての投資機会の模索